

TCワンポールテント TOP-240 取扱説明書

使用上の注意及び禁止事項

この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をお読み下さい。また、キャンプ先での不測の事態に備えて、ご出発前に必ず予行練習をしてください。尚、この取扱説明書は組立て後も捨てずに、大切に保管しておいてください。

保管・点検・お手入れ



●本体のお手入れは柔らかい布等で拭いてください。著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。



●テントの寿命は取り扱い方法によって変わってきます。夏など紫外線の強い時期に設置したまま放置すると生地が傷み、寿命が短くなります。又、濡れたままや、湿気を帯びた状態で保管したり、バッテリー液、ジュース等の酸や腐食性の溶液、及び殺虫剤、ヘアスプレー等を生地にかけると寿命は短くなります。



●組立ては平らな所で行ってください。

注意 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う事故、及び物的傷害の発生が想定される内容を表しています。



●ご使用前に必ず家で試し張りをして、付属品の不足、縫製不良がないかチェックしてください。



●予備のペグ等は、常に用意しておいてください。ペグは設置場所の状況に応じた市販の物を購入して使っていただく事をおすすめします。



●設置前に地面を整地し、小石等の凹凸を無くしてください。



●キャンプサイトは平地、乾いた地面、水はけの良い場所、日当たりの良い場所、風の影響の少ない場所を選んでください。



●このテントは一般キャンプ用に規格されています。山岳用、又は常設用としてのご使用はお避けください。また、台風・集中豪雨・暴風時にはご使用を中止し安全な場所へ避難してください。



●天災時の不可抗力やお客様のお取扱上の不注意、不当な修理・改造による故障、破損等は保証いたしかねます。



●テントの近くで焚き火などの火を扱う場合には、テントに燃え移らないよう離れた位置をお願いします。



●本製品は防水加工が施されておりません。テントの張り方が弱く水が溜ったり、長時間濡れたりした場合は雨漏りする場合があります。生地の一部を低く設置するなど、雨水の逃げ道をつくる対策を行ってください。



●ポールを放り投げたり、ぶつけたりして傷つけないでください。ポールの破損の原因になります。また、強風等によりテントが変形して一定箇所に負荷がかかりすぎた場合は、ポールに曲がり癖が付いたり、破損することがあります。



●ご使用後のテントは日陰干しでよく乾かし、完全に乾いてから部品の数量を確かめて収納、保管してください。濡れた状態で放置されると、生地の色が他の部分へ色移りする事がありますのでご注意ください。



●テントの破損を発見したらすぐに補修してください。その際は市販のテント用リペアキットを使用してください。



●ペグはしっかりと打ち込んでください。

警告 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が死亡、又は、重傷を負う事故が想定される内容を表しています。



●テントの上に乗らないでください。落ちると危険です。



●使用時は組立て完了後、安全を確かめてからご使用ください。



●テント内での火器及び喫煙は危険ですので絶対にしないでください。

火気厳禁

お手入れの方法

当商品は耐久性には万全を期していますが、お客様のお手入れによって道具の寿命は変わってきます。又、大きなキャンプ道具は家でメンテナンスするよりも現地の方が、やり易い場合があります。基本的な以下のお手入れを行ってください。



1 テントの中のゴミやほこりを出してから片付けると後が楽になります。



2 テントのファスナーは砂を噛んだりして壊れる事があります。そうなる前に汚れをよく落とすと滑りを良くする専用スプレーをかけてください。



3 ポールに泥や、海辺の塩分を含んだ砂や土がついたままになっているとさびの原因になります。ブラシ等でキレイに磨き落としてください。



4 ポールは設置中、常に大きな力を受けています。ポールを磨く際、曲がりや疲労した箇所がないかチェックしてください。



5 飲物をこぼしたり、過度な汚れは洗濯機の弱い水流で洗い、よく乾かしてから防水スプレーをまんべんなく吹き付けてください。



6 防水スプレーは、テントのメンテナンスには欠かせないものですが、有害成分が含まれているので使用時は必ず風通しの良い屋外で行ってください。又、テント内に塗布する場合は換気には十分に注意を払ってください。

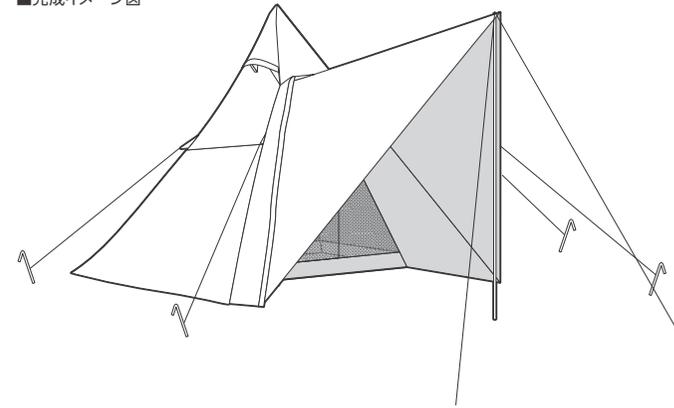
部品明細

■まず、シートなどすべての部品を取り出し部品がすべて揃っていることを確認してください。

1 フライシート 1	2 インナーテント 1	3 センターポール(短) 1 フライポール(長) 1	5 ペグ 13	6 ハンマー 1
		4 ガイドロープ 6	7 キャリーバッグ 1	

※付属品は、設置場所の状況に応じて市販の物を購入して使って頂く事をおすすめします。

完成イメージ図



本製品はフライシートのみでもご使用できます。

品質表示

寸法	／(約)幅2400×奥行2400×高さ1500(mm)
構造部材	／ポール:(金属)スチール
張り材	／ポリコットン(ポリエステル・コットン混紡)

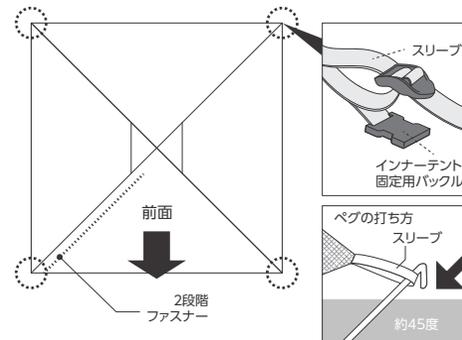
● テントの設置

※本製品はフライシートのみでもご使用できます。

1 設置場所を決める

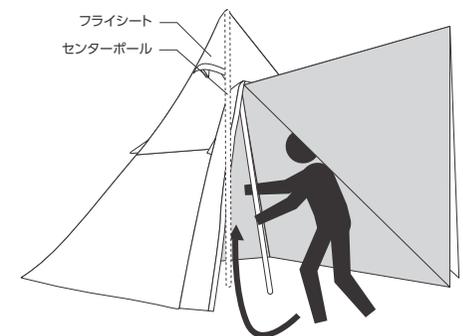
フライシートを地面へ置きます。フライシートの各辺が引張りられた状態になるように四隅のスリーブをペグで固定します。(4箇所)

△ フライシートには前後があります。ご注意ください。



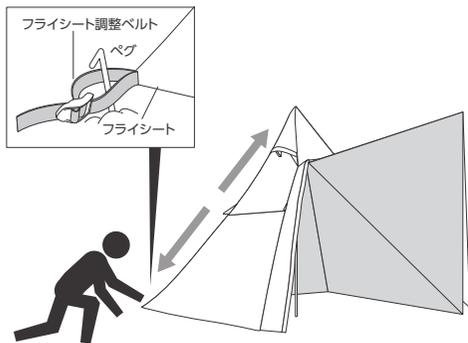
2 センターポールの設置

フライシートの上部中央にポールを押し当て、センターポールがテント全体の中央に来るように置き、立ち上げます。



3 フライシートの調整

立ち上げた後に、フライシート調整ベルトでフライシートの張りを調整してください。(4箇所)



4 フライポールの立て方

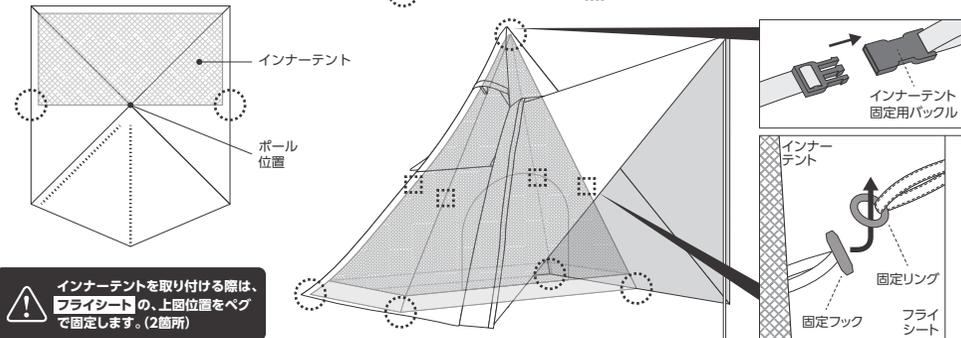
フライシートのファスナー①を閉めた状態で、フライポールをフライシートの先端スリーブに差し込んで立ち上げます。
※ファスナー②は開いたままです。



8 インナーテントの取り付け

※フライシートのみでご使用になる場合、この工程はとばしてください。

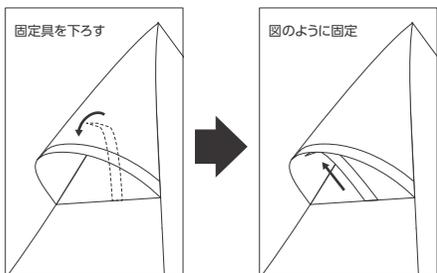
インナーテントの設置箇所



インナーテントを取り付ける際は、**フライシート**の上図位置をベグで固定します。(2箇所)

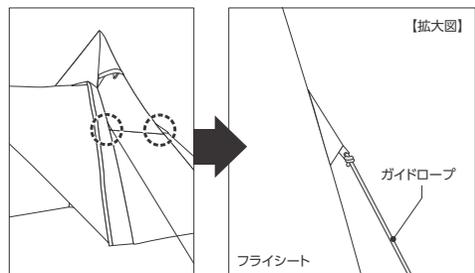
5 ベンチレーションの固定

ベンチレーションを下図のようにセットしてください。(4箇所)



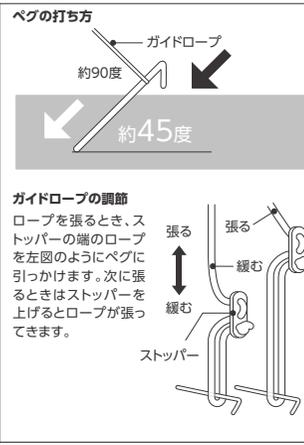
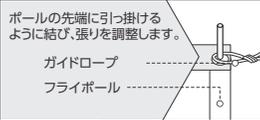
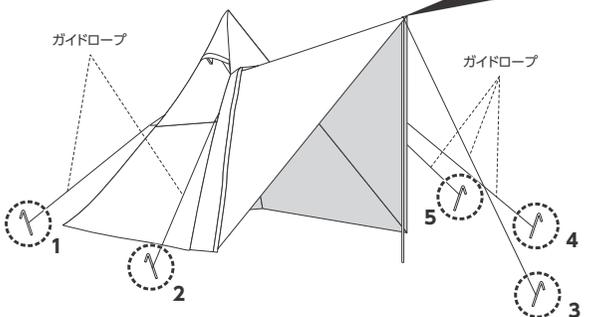
6 フライシートとガイドロープの接続

フライシートの下図位置のスリーブにガイドロープを結びつけます。(4箇所)



7 ガイドロープの固定

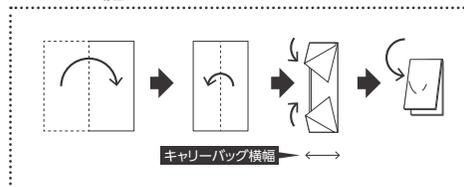
⑤で結びつけたガイドロープをベグで地面に固定します。フライポールの先端にガイドロープを結び、ベグで固定します。(5箇所)



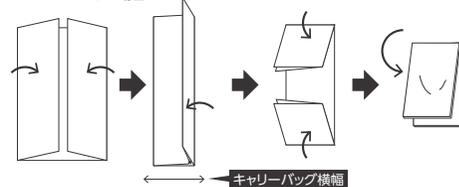
収納参考例 ●インナーテント、フライシートのたたみ方

1 下図のように正方形に近い形に折り進めていきます。横幅がキャリーバッグに収まるようにサイズを調整しながら、たたんでください。(フライシートは先にたたんでください。)

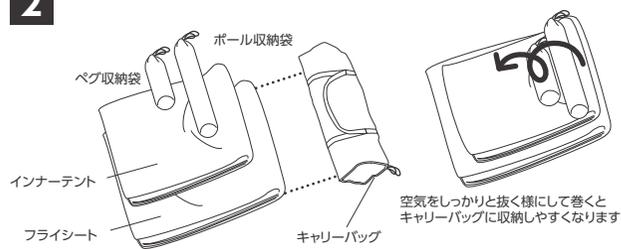
フライシートの場合



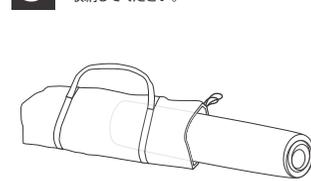
インナーテントの場合



2 下図の様に最終的に横幅がキャリーバッグの長さ収まる様に微調整してください。



3 最後にこの状態でキャリーバッグに収納してください。



当製品につきましてご不明な点がございましたらご連絡ください。

YAMAZEN 株式会社 山善 キャンパーズコレクション係
お客様相談窓口フリーダイヤル 0120-069-060
[AM:9:00~PM:5:30土・日・祝を除く]

※故障及びお問い合わせは、お買い求められました販売店までお申し付けください。
※本製品の仕様は改良の為、予告なく変更される事があります。

その他の商品は右記のホームページをご覧ください。
www.cc1996.jp
商品のお問い合わせはホームページ「Q&Aコーナー」からも受け付けております。